

第6学年〇組 道徳科学習指導案

平成〇年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 主 題 名 自由と責任について考える A 自由と責任

2 本時のねらい

- 自由と自分勝手の違いを話し合うことを通して、自律的に判断し責任ある行動について考えを深める。

3 準備・教材

- 教材名「修学旅行の夜」 出典「新しい道徳」(東京書籍)
- 教師・・・ワークシート

4 学習指導過程

| 段階 | 学 習 活 動 | 時間 | 指 導 上 の 留 意 事 項 |
|----------|---|----|---|
| 方向付け | 1 修学旅行で楽しかったことは、どんな場面であったかを想起させ、教材への方向付けをする。 ・班別分散のとき ・旅館での夜 | 5 | ○色々な場面を思い出させ、自由に意見を言わせる。 ○楽しかった場面は、自由な時間があったことを想起させる。 |
| 価値の追求・把握 | 2 本教材を読み、内容について話し合う。 | | ○範読をし、あらすじを確認する。 |
| | 修学旅行の夜、人に迷惑をかけないように気をつけておしゃべりすることは「自由」か「自分勝手」のどちらでしょうか。また、そう思う理由も考えましょう。 | | |
| 価値の自覚 | <自由> ・せつかくの修学旅行なので、自分たちのしたいことをするのが自由 ・周りに迷惑をかけなければ自由 <自分勝手> ・寝たい人もいる中で、一部の人だけがおしゃべりするのは自分勝手 ・迷惑をかけずにおしゃべりするのは難しいから自分勝手 | 25 | ○「自由」か「自分勝手」のどちらかの立場を決めて、なぜそう思うか理由を考えさせて発表させる。 補 修学旅行の夜、人に迷惑をかけないように気をつけておしゃべりすることはいけないことですか。 ○隣の部屋の人が来ても、班の人たちはあまり気にかけていなかったことを押さえる。 |
| | 3 生活を振り返り、自己を見つめる。 | | |
| 価値の自覚 | 自由と自分勝手のちがいはなんでしょうか。 | | |
| | ○グループごとに考え、全体で発表する。 ・していいことといけないことを考えるのが自由で、やりたいことだけをするのが自分勝手 ・周りの人のことを考えて行動するのが自由で、自分のことしか考えていないのが自分勝手 ・自分の行動に責任をもたなければいけないことが自由で、そうでないのが自分勝手 | 35 | ○なぜそう思うかについて考えを深められるように、意見交換させる。 ○少人数のグループで話したのち、全体で話し合わせる。 ○自分勝手は、自分のことしか考えていないので、周りに迷惑をかけていることに気付かせる。 補 班長としての責任とはなんですか。 ○自由だからこそ、責任ある行動があることを共有する。 評 自由は、責任ある行動が必要であることについて考えている。(発表) |
| まとめ | 4 本時の授業を振り返り、感想をまとめ、発表する。 | 45 | ○授業で感じたこと、考えさせられたことをワークシートにまとめさせる。 ○ワークシートの記入をもとに、自分の考えを発表させるようにする。 |

5 本時の評価

- 周りのことを考え、責任ある行動をすることの大切さについて考えている。

(発表)

6 板書計画

修学旅行の夜

○班別分散研修 ○旅館での夜 ↓ **自由**

自由

自分勝手

- ・寝たい人もいる中で、一部の人だけがおしゃべりをするのはいけない。
- ・めいわくをかけずにおしゃべりをするのは難しい。
- ・せっかくの修学旅行なので、自分たちのできることをしたい。
- ・周りにめいわくをかけなければいい。

ちがいはなに？ ←

- ・していることとといけないことを考えるのが自由で、やりたいことだけをするのが自分勝手に、周りの人のことを考えて行動するのが自由で、自分のことしか考えていないのが自分勝手に、自分の行動に責任をもたなければいけないことが自由で、そうでないのが自分勝手に

《感想》